

【議事】定 34

(1) H- A ロケット 11 号機の打上げについて

JAXA の河内山理事が資料 34-1-1(H- A#11 による ETS- の打上げ計画全体)を説明し、JAXA の遠藤プロマネが資料 34-1-2(204 型ロケットの準備状況)を説明し、JAXA の辻畑プロマネが資料 34-1-3(ETS- の準備状況)と資料 34-1-4(LDREX-2 の準備状況)を説明した後、井口委員長の短い質問があった。

井口：揚げ足を取るような発言で申し訳ないが、「大きな変更と言っても SRB-A2 本から 4 本」と発言されたが、これは大きな変更ではないか。

JAXA 河内山：板厚の変更など細かな変更を伴っており、大きな物は SRB だけであるという意味の発言をした。しかるべく配慮しながら間違いの無い打上げを目指している。

引き続き、池原参事官が資料 34-1-5(安全部会の開催)を説明し、H- A#11 を安全部会で審議することが決定された。

井口：安全部会長として何かございませんか。

松尾：審議いたします。

井口：それでは異論がないようなので「決定」と致します。

(2) M- ロケット 7 号機による第 22 号科学衛星「ひので」(SOLAR-B)の打上げ結果について

次に JAXA の河内山理事、井上理事、森田プロマネが資料 34-2 を説明した後、短い質疑応答があった。

井口：森田さんは 6、8、7 号機と連続して責任者として打上げを行い、今回有終の美を飾ったというわけですね。

JAXA 森田：責任者は隣に居る河内山であり、私は現場の責任者として参加した。仰るとおり 3 回の打上げを担当した。

井口：外にどなたか発言はありませんか。褒めてやっていただきたい。

松尾：感傷的になる必要があれば何時でもそうしますが。ともかく、おめでとうございます。

井口：SOLAR-B の結果が出ましたら、また報告をしていただきたいのでよろしく願います。